



発行番号：第14A1817号
発行日：平成26年 8月29日

品質性能試験報告書

依頼者 株式会社 タ ナ カ

茨城県土浦市大畑702-1

試験名称 面材合板を介して枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



品質性能試験報告書

試験名称	面材合板を介して枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の引張試験						
依頼者	株式会社 タナカ						
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 商品名：TB-S 用途：両面開口を設けた時の側壁のまぐさ受け・たて枠と土台の緊結 寸法：長さ391mm, 幅38mm, 厚さ1.6mm</p> <p>2. 接合具 太めくぎ：16-ZN65</p> <p>3. 使用枠組等 たて枠・下枠：枠組壁工法構造用製材, 甲種2級, 樹種；S-P-F, 寸法型式；204 土台：樹種；Hem-Fir(N), 寸法型式；404 面材合板：JAS構造用合板, 特類2級, 厚さ；12mm 床合板：JAS構造用合板, 特類2級, 厚さ；28mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1及び図-2（試験体の形状・寸法）</p>						
試験方法	「2007年 枠組壁工法建築物構造計算指針」（発行／社団法人日本ツーバイフォー建築協会）の第V編「材料及び接合部の許容応力度等を定める試験・評価方法とその解説」の2.2.3「接合部の基準許容応力及び基準終局耐力並びに基準剛性（繰り返し加力接合部試験によるもの）」に準じて行った。なお、加力は一方向繰り返しとした。試験方法を図-3に示す。						
試験結果	試験体		試験許容応力時		試験終局耐力	終局変位	試験剛性
	記号	番号	(Py)kN	(δy)mm	(Pu)kN	(δu)mm	(K)kN/cm
	TK014-0251	0	13.0	1.7	22.3	25.6	76.5
		1	13.3	1.7	23.3	28.8	78.2
		2	12.1	1.7	21.7	30.0	71.2
		3	14.9	2.6	25.4	30.0	57.3
		4	15.0	2.9	24.0	30.0	51.7
		5	13.5	2.0	22.8	28.2	67.5
		6	13.9	2.5	23.9	30.0	55.6
	平均	13.8	2.2	23.5	29.5	63.6	
標準偏差		1.09	0.51	1.25	0.80	10.31	
5%下限値		11.3		20.6		—	
基準値		基準許容応力 7.5	—	基準終局耐力 20.6	—	基準剛性 63.6	
(注) 基準許容応力は試験許容応力の5%下限値に2/3を乗じた値であり、基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。また、基準剛性は試験剛性の平均値である。 参照：表-1（2/3Pmax時、最大荷重時及び破壊状況） 図-4（荷重-変位包絡線の比較） 図-5（荷重-変位曲線、包絡線及び完全弾塑性モデル） 写真-1～写真-6（破壊状況）							
試験期間	平成26年 8月20日						
担当者	構造グループ 統括リーダー 川上 修 統括リーダー代理 室星 啓和（主担当） 主任 庄司 秀雄						
試験場所	中央試験所						